

卒業の認定に関する方針		教育課程の編成及び実施に関する方針
構成要素（コンピテンス）	能力（コンピテンシー）	
豊かな知識・教養に基づく高い倫理観	工学技術が社会と環境に及ぼす影響を理解し、幅広い知識・教養に基づく高い倫理観を涵養することができる。	工学にかかわる分野で社会と環境に貢献できる工学的手法の習熟と、それらを駆使できる幅広い教養・科学の学修を遂行し高い倫理観を涵養することができる。
日本及び世界の現状を理解し、説明する力	グローバル化する社会における工学技術者として、多文化や異文化に関する知識や国際社会が直面している問題を理解し説明することができる。	日本大学並びに日本大学工学部の使命を理解し、自らの専門分野の日本および世界における工学的役割や諸問題を幅広く見渡し、説明することができる。
論理的・批判的 思考力	体系化された継続的な学修により工学の基礎力を身につけ、工学技術者として論理的、批判的な思考をすることができる。	工学にかかわる分野の基礎となる、論理的・科学的・批判的思考の重要さや手法を、体系化された継続的な学修によって理解・習得し、専門分野における幅広い知識の吸収と高度な技術力を身につけ、発揮することができる。
問題発見・解決力	工学の基礎力に基づいて、自ら問題を発見し考察できる発想力と分析力を持ち、問題の解決策を提案できる。	持続可能な社会の実現に向けた、工学にかかわる幅広い分野の知識や技術の学修を通して、問題解決型や提案型の思考に接することで想像力を養い、豊かな発想と高度な分析を通して、自ら問題を発見し解決できる。
挑戦力	地球環境の保全や健康的な生活に工学の立場から寄与し、持続可能な社会の実現のために、あきらめない気持ちを持って果敢に挑戦することができる。	持続可能な社会の実現に向けて自ら考え行動し、工学にかかわる分野で社会に貢献できる専門知識・技術を体系的に身につけ、自らのキャリアデザインも含めて、新しいことに果敢に挑戦することができる。
コミュニケーション力	社会性を持つ工学技術者として、常に他者の意見に耳を傾け、自らの意見を相手に伝えることができる。	社会性を持つ工学にかかわる分野の技術者として、豊かな人間関係づくりの土台となる心身の健康、集団での行動、また多様なメディアを通してのコミュニケーション力を身につけ、自分と異なる立場の他者を理解・尊重しつつ、自らの考えを相手に伝えることができる。
リーダーシップ・協働力	工学技術者の立場から他者との協働を通して、リーダーとして他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。	学修における協働作業のなかで、他者と協働し社会に貢献できる人間性豊かな技術者になる素養を身につけ、集団のなかでリーダーとして他者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。
省察力	自己を見つめ、自らの言動を謙虚に振り返り、工学技術者として自己を高めることができる。	工学にかかわる分野に関して、常に他者の意見や自己に対する評価を謙虚に受け止め、自らの学修や活動の達成度を謙虚に振り返り、新しい知識や技術の習得に励むことができる。